

宇多津町教育委員会

宇多津町立宇多津北小学校

1 実践のテーマ

宇多津の魅力を広げ隊！～塩でつながろうプロジェクト～

2 目標

「宇多津の魅力を広げ隊！」というテーマのもと、児童自ら課題を見付け、地域の人やICTを活用して、情報を収集し、整理・分析してまとめ、地域へ発信したり表現したりすることで、学び方やものの考え方を身に付ける。

3 内容

単元全体を通して、地域のリソース（教育資源）を中心に活動を広げた。

「人」では、地域のボランティア団体とのワークショップを通して、もの作りの楽しさだけでなく、宇多津の塩の新たな活用法や商品価値に気付く機会となった。また、うたづ海ホタルの塩職人から塩の作り方や先人の知恵を、体験の中で教えてもらったり、塩を広めるためのロゴ作りでは、地域の絵本作家の方からよりよいデザインのこつを聞いたりするなど、専門的な知識や技能から学ぶ場となった。

「もの」では、宇多津の特産品である塩を扱うことはもちろんのこと、地域の人たちとの関わりや、学校行事や地域イベントの活用、町役場との連携を効果的に組み込んだ。

「こと」では、学校行事「レッツゴースクールデー」で、塩クイズスタンプラリーや塩PRを行った。他にも、修学旅行で宇多津の塩を法隆寺に奉納したり、作ったリーフレットをホテルに置かせていただいたりした。

単元の終末には、町の子どもも議会で、自分たちが作った塩商品やリーフレットを持参し、宇多津の塩のPR方法を町長に提案し、議会で自分たちの思いを伝えることで、宇多津の町の魅力を再発見することができた。

4 成果と課題(○成果、●課題)

- 単元を通して、様々な場面で地域の人・もの・ことに繰り返し関わる場を設定することで、児童が自ら町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々の思いや願いに気付き、本気で共に進もうとすることができた。また、これらの活動を通して、自分の住んでいる宇多津町の魅力を味わい、実感することができた。
- 地域の専門家からアドバイスを受けることで、人と関わる面白さを味わえた。
- クラス間で活動時間を調整したり、それぞれの部署の進捗状況について担当教員と児童が情報共有したりすることが難しかった。さらに柔軟な対応が可能な内容を考え、全校時間割や横断的なカリキュラムの編成など、さらに研究を進めていく。



よりよいロゴにするための話し合い



学校行事で、保護者、下級生へのPR



宇多津町子ども議会で谷川町長へアピール

